

(血液・腫瘍内科)

1. 概要

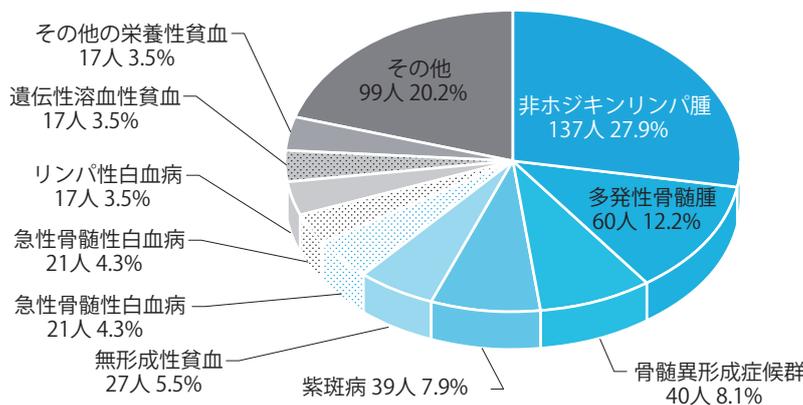
平成9年に開設し平成13年10月には病棟（西9階病棟）、外来（第6診）とも独立し現在に至る。患者は豊橋市内、新城市、豊川市、蒲郡市、田原市と一部湖西市の診療施設から多数の患者の紹介を受けている。そのため疾患は多彩であらゆる血液疾患に対応することが必要とされている。そのため現在は外来も火、水、木曜日については第6診、7診と二箇所に増設し対応している。血液悪性疾患については悪性リンパ腫が最も多く、その他、多発性骨髄腫、急性白血病、慢性骨髄性白血病が続いている。特に多発性骨髄腫、急性白血病においては全国レベルでも豊富な経験で知られている。

これまで自己末梢血幹細胞移植は常時行われてきた。現在、取り組んでいる課題として同種骨髄移植を当院で実施できる体制を確立することに重点を置いている。その結果、安定した医療を提供することで地域医療に貢献することを目標としている。

血液腫瘍内科

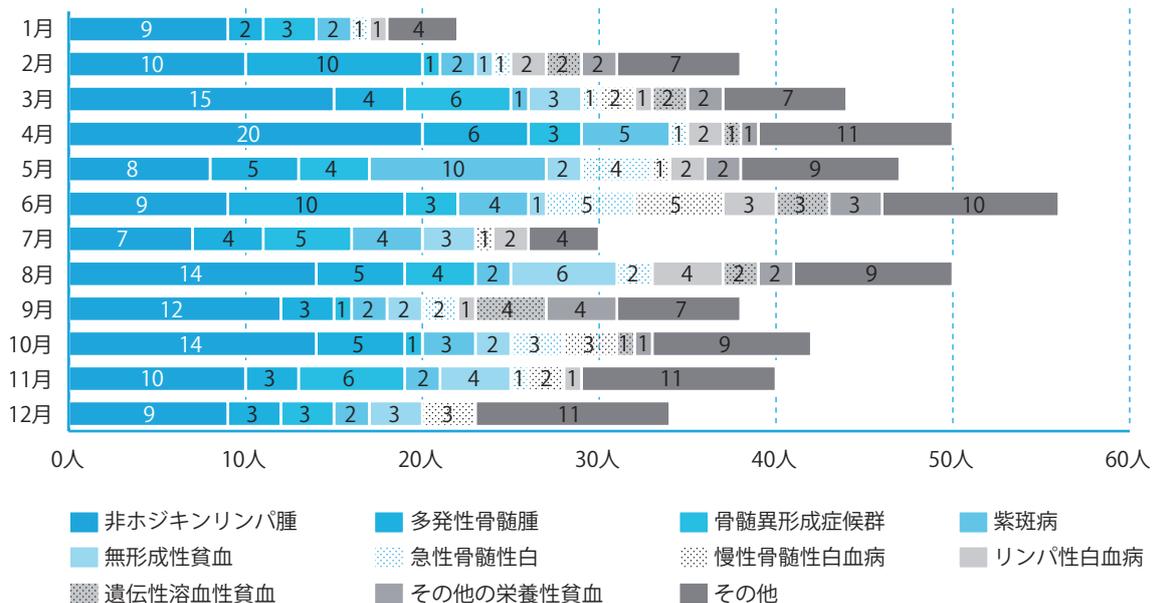
疾患別頻度

新患者数:491人



月別疾患別頻度

新患者数:491人



血液腫瘍内科

科指定 5 疾患

新患者数:334人

1	非ホジキンリンパ腫	137人
2	多発性骨髄腫	60人
3	骨髄異形成症候群	40人
4	特発性血小板減少性紫斑病	37人
5	急性骨髄性白血病	21人
6	慢性骨髄性白血病	17人
7	急性リンパ性白血病	11人
8	再生不良性貧血	11人
	計	334人

感染症

新患者数:324人

1	敗血症	156人
2	カンジダ症	51人
3	真菌症	30人
4	サイトメガロウイルス病	25人
5	ヘルペス感染症	21人
6	ニューモシスチス症	20人
7	アスペルギルス症	17人
	その他	4人
	計	324人

学会発表

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する新たな取り組み（その1）	杉 浦 勇	座談会「フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する新たな治療戦略」	2012/2/4
2	The experience of second generation TKIs for patients with chronic myelogenous leukemia	杉 本 匠	第74回日本血液学会学術集会	2012/10/19
3	Two cases with major-Ph+ALL achieved CR safely with Dasatinib and steroid as an induction therapy	寺 部 里 美	第74回日本血液学会学術集会	2012/10/19
4	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉 浦 勇	第74回日本血液学会学術集会コーポレートセミナー27	2012/10/21

研究会発表

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉 浦 勇	第4回尾張白血病セミナー	2012/1/17
2	当院での Ph+ALL 治療における Dasatinibの使用経験	寺 部 里 美	Ph+ALL セミナー	2012/2/1
3	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する新たな取り組み (その1)	杉 浦 勇	座談会「フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する新たな治療戦略」	2012/2/4
4	Personalized therapy in multiple myeloma according to patient age and vulnerability: a report of the European Myeloma Network (EMN)	寺 部 里 美	第6回名古屋骨髄腫WG	2012/2/15
5	Ph+ALL212 プロトコール進捗	杉 浦 勇	25th Anniversary International Symposium of JALSG	2012/6/23
6	寛解導入療法、地固め療法にベルケイドを導入した自己末梢血幹細胞移植	杉 浦 勇	第6回東海骨髄フォーラム症例検討会	2012/9/8
7	多発性骨髄腫とその治療の進歩	杉 浦 勇	第30回MCRフォーラム	2012/11/2
8	Hairy cell leukemia を疑われた症例	南 喜 之	第24回三河血液疾患診療ネットワーク	2012/11/2

座長・司会

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	東京医科大学内科学 大屋敷一馬「骨髄異形成症候群の治療戦略と新たな展開」	杉 浦 勇	愛知エキスパートミーティング	2012/6/16
2	特別講演 名古屋大学大学院医学系研究科 鈴木律朗「臨床研究方法論と遵守すべき指針（ガイドライン）」	杉 浦 勇	第24回豊橋がん診療フォーラム	2012/7/11
3	特別講演司会 Dr.Philip L.McCarthy 「Future Aspects on Myeloma Treatment」	杉 浦 勇	Dr.Philip L.McCarthy特別講演	2012/11/30

講 演

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	多発生骨髄腫の診断について	杉 浦 勇	豊橋外科医会生涯教育研修会	2012/5/12
2	Philadelphia 染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉 浦 勇	SHIZUOKA Ph+Leukemia SUMMIT-2012-	2012/9/20

論文・著書

<血液・腫瘍内科>

No.	題 名	発表者及び 共同研究者	雑 誌 名
1	Ph陽性ALLへの治療戦略	杉 浦 勇	カレントセラピー別冊 Vol.30,No.10,53-58,2012年,10月号
2	Retrospective analysis of primary gastric diffuse large B cell lymphoma in the rituximab era: a multicenter study of 95 patients in Japan	Tanaka T	Ann Hematol Vol.91, 383-390,2012